

2011.3▶2022.11

合併から70年

2011(平成23)年3月▶2022(令和4)年11月

東日本大震災・原発事故の発生で築き上げた町の歴史は一変した。全町避難し、約1,200人が埼玉県加須市に避難するなど町民は全国各地に避難した。2013(平成25)年6月17日に役場機能本体をいわき市東田町の「双葉町いわき事務所」に移転、震災から11年余経過した2022(令和4)年8月27日に双葉町に役場新庁舎が開庁した。8月30日には特定復興再生拠点区域の避難指示が解除された。この間、常磐自動車道の全線開通、JR常磐線の全線再開など復興に動き出した。中野地区復興産業拠点に進出する企業の立地協定締結も続いた。町の合併から70年となったこの10年間、そして合併から71年を迎えた2022年は東日本大震災・原発事故による町、住民の苦悩と復興に歩み出した歴史である。



町道高万迫取付1号線



平成23年3月11日の大地震で鉄筋コンクリート4階建ての町役場庁舎も大きく揺れて、書棚やロッカーが倒れた。床がPタイル製のため、机などが激しく動いた



落下したJR常磐線高架橋(前田付近)



海から県道広野・小高線を上ってくる大津波＝平成23年3月11日



浜野・郡山地区に押し寄せる大津波＝平成23年3月11日



双葉南小の校庭にできた大きな地割れ



平成23年3月12日朝、役場内で業務をする防護服姿の町職員

2011
平成23年
(3月～)

東日本大震災発生

3月11日 **14時46分** 三陸沖を震源とする東日本大震災が発生。双葉町の震度は6強。全壊103棟、半壊14棟、一部破損1棟(ただし避難指示区域設定の影響で詳細調査不能。※平成30年3月末現在)

15時30分頃 大津波が双葉町に押し寄せ、約3km(町全域の約5.8%)が浸水。津波による死者21名

16時27分 震災後初の町災害対策本部会議

19時03分 菅直人首相が原発法に基づく「原子力緊急事態宣言」を発令

20時50分頃 福島県が福島第一原発から半径2km圏内の避難を発令

21時23分 菅首相が福島第一原発から半径3km圏内の避難及び3～10km圏内の屋内退避を指示

3月12日 **5時00分** 町災害対策本部会議

5時44分 菅首相が福島第一原発から半径10km圏内の住民に避難を指示



旧小島小学校でおにぎりを配る
(川俣町) = 平成23年 3月13日



さいたまスーパーアリーナに開設した
双葉町の出張所 = 平成23年 3月19日



さいたまスーパーアリーナに到着 = 平成23年 3月19日



新たな避難先となる旧騎西高校に到着した双葉
町民 = 平成23年 3月30日、埼玉県加須市



旧騎西高校第一体育館も生活の場に



天皇陛下の優しいお言葉にこたえる子どもたち (旧騎西高校体育館) = 平成23年 4月 8日



半径 5 km 圏内の双葉町内で本格的な
捜索に当たる警察官 = 福島県警提供

7時30分 町災害対策本部で
全町避難等を決定、7時40分
に避難広報を行う

8時00分 町防災無線で川俣
町への避難広報を行い、約
2,200人の町民が川俣町へ避難

14時00分頃 双葉町役場を閉
鎖。その後、川俣町合宿所に
災害対策本部を設置

15時36分 福島第一原発 1 号
機の原子炉建屋が水素爆発

18時25分 菅首相が福島第一
原発から半径20km圏内の住民
に避難指示

3月13日 川俣町の避難所の一部町民に
ヨウ素剤を投与(～3月14日)

3月14日 **11時01分** 福島第一原発 3 号
機の原子炉建屋が水素爆発

3月15日 **6時14分頃** 福島第一原発 4
号機の原子炉建屋が水素爆発

3月19日 約1,200人の町民が、川俣町
から「さいたまスーパーア
リーナ」へ避難

同施設内に「双葉町埼玉出張
所」を設置

3月30・31日 約1,200人の町民が、埼玉県
加須市・旧騎西高校に避難

4月1日 副町長に井上一芳氏が就任

埼玉県加須市・旧騎西高校内
に「双葉町埼玉支所」を開設

ホテルリステル猪苗代内に
「双葉町猪苗代出張所」を開
設

4月8日 天皇后両陛下が旧騎西高校
避難所をご訪問

「川俣町合宿所」の災害対策
本部を撤収

4月12日 福島第一原子力発電所の一連
の事故が国際原子力事故評価
尺度でチェルノブイリと同じ
「レベル7」に引き上げられ
た

4月21日 福島第一原子力発電所から半
径20km圏内の警戒区域設定決
定(22日に区域設定)



一時帰宅に向かうバス内部＝平成23年5月26日



「児童生徒再会の集い」に参加し、笑顔ではしゃぐ児童＝平成23年8月19日



「町役場福島支所」の看板を掲げる井戸川町長(右から2人目)＝平成23年10月28日



津波の犠牲者の冥福を祈り献花する住民(浜野地区)＝平成23年6月11日



町民の入居が始まった白河市郭内の仮設住宅＝平成23年9月2日



原子力被害の完全賠償を求める双葉地方総決起大会(いわき市)＝平成23年12月3日



震災後初の成人式(郡山市)＝平成24年1月8日



東日本大震災犠牲者合同慰霊式(いわき市)＝平成24年3月4日



いわき市南台応急仮設住宅内を威勢よく練り歩くダルマ神輿＝平成24年1月21日

- 4月22日 …… 午前0時 計画的避難区域及び緊急時避難準備区域の設定
- 5月4日 …… 菅首相が旧騎西高校避難所を訪問。これに伴い、同首相に高速道路の無料化の対象拡大、仮設住宅の入居期限について柔軟な対応、新たな町づくり構想等を要望
- 5月26日 …… 警戒区域への町民の一時帰宅開始(～9月1日まで)
- 6月11日 …… 双葉町慰霊式を浜野地区で開催、13世帯・23人が参列

- 8月19～21日 …… 小中学校児童生徒再会の集い(猪苗代町)
- 9月30日 …… リステル猪苗代避難所を閉鎖
- 10月28日 …… 郡山市に「双葉町福島支所」を開設
- 11月20日 …… 町議会議員一般選挙投票開票
- 11月30日 …… 町議会議長に佐々木清一氏、副議長に伊澤史朗氏就任
- 12月12日 …… 茨城県つくば市に「つくば連絡所」を開設
- 12月25日 …… 「原発事故被害救済双葉町弁護団」結成式

2012
平成24年

- 【県内】豪雨で会津地方に大被害、只見線では鉄橋崩落、約7千人に避難指示、勧告(7.29)非常に強い台風15号が本県直撃、甚大な被害(9.21)【国内】サッカー女子W杯、なでしこジャパンが世界一(7.17)円が戦後、最高値を更新、1ドル＝75円32銭に(10月)【国際】北朝鮮の金正日総書記急死(12.17)
- 1月8日 …… 震災後初の成人式(郡山市)
- 1月20日 …… いわき市にグループホーム「せんだんの家」を開設

- 1月21日 …… 町ダルマ市をいわき市南台応急仮設住宅で開催
- 1月25日 …… 電子掲示板(デジタルフォトフレーム)の貸与と受付開始
- 1月27日 …… いわき市南台応急仮設住宅に高齢者サポートセンター「ひだまり」開設
- 3月4日 …… 東日本大震災犠牲者合同慰霊式(いわき市)
- 3月8日 …… 東京電力に不動産(土地・建物)の損害賠償請求

3月11日 …… 震災から1年、各仮設住宅集会所、つくば連絡所、埼玉支所にて慰霊式

4月1日 …… いわき市南台応急仮設住宅に「いわき南台連絡所」を開設

7月19日 …… 町の再生及び復興のあるべき姿などを検討する「双葉町復興まちづくり委員会」の1回目を開催（～平成25年5月8日まで、全12回開催）

7月28～30日 …… 相馬野馬追が2年ぶりに復活（町からは6騎の騎馬武者が出陣）

8月3日 …… 渡邊一成選手がロンドン五輪自転車競技に出場

12月12日 …… 町議会が町長辞職要求書を提出

12月20日 …… 町議会が町長不信任決議を全会一致で可決

12月26日 …… 井戸川町長が町議会を解散

【県内】箱根駅伝で東洋大主将の柏原竜二選手が4年連続区間賞、最優秀選手に（1. 2.、3）ロンドン五輪で県勢活躍（7. 8月）【国内】iPS細胞の山中伸弥氏、ノーベル生理学医学賞受賞（12.10）衆院選で自公が政権奪還、第2次安倍内閣発足（12.16. 26）【国際】中国で習近平指導部発足（11.15）

2013
平成25年

2月3日 …… 町議会議員一般選挙を実施

2月12日 …… 井戸川克隆町長退任。これに伴い、町長職務代理者に井上一芳副町長が就任

2月13日 …… 町議会議長に佐々木清一氏、副議長に岩本久人氏就任

2月21日 …… 町区域再編（案）並びに賠償基準に係る町民説明会を開催（～3月5日まで）

3月2日 …… 東日本大震災・双葉町追想式、慰霊碑の除幕式を開催（下条地区）

3月10日 …… 双葉町長選挙で伊澤史朗氏が初当選。12日初登庁

3月16日 …… 避難指示再編（案）並びに賠償基準に係る説明会を実施（対象：浜野・両竹地区）

4月23日 …… 避難指示区域の再編（案）について議会が国の説明を受け同意

町が国に対して意見書を提出

5月7日 …… 国原子力災害対策本部が避難指示区域の見直しを行い、避難指示解除準備区域及び帰還困難区域への再編決定

5月28日 …… 双葉町における警戒区域（全面海域を含む）が、午前0時をもって解除され、代わって避難指示解除準備区域及び帰還困難区域へ再編

6月17日 …… 役場本体機能を「双葉町いわき事務所」に移転、開所
●住所：いわき市東田町二丁目19番地4（旧福島地方務局勿来出張所跡地）
●敷地面積：1,200㎡
●建物仕様：軽量鉄骨プレハブ造り2階建て
●行政機能全般が執行できるよう配置

役場組織を見直し（復興推進課・生活支援課・産業建設課の設置等）

避難者支援のため「双葉町郡山支所」（旧福島支所）、「双葉町埼玉支所」を引き続き設置

6月25日 …… 双葉町復興まちづくり計画（第一次）を決定

7月1日 …… 副町長に半澤浩司氏、町教育委員会教育長に半谷淳氏就任

9月22日 …… 皇太子ご夫妻が、郡山市内の喜久田応急仮設住宅をご訪問

10月1日 …… 埼玉支所を旧騎西高校から加須市騎西総合支所内へ移転

12月27日 …… 旧騎西高校避難所の入所者全員が退所



双葉町内に建立された慰霊碑前で犠牲者の冥福を祈る遺族＝平成25年3月2日



区域再編に合わせ設置されたバリケードの施錠を確認する伊澤町長＝平成25年5月28日午前0時27分ごろ



双葉町役場いわき事務所の開所式であいさつする伊澤史朗町長＝平成25年6月17日



開所した双葉町役場いわき事務所＝平成25年6月17日



郡山市の仮設住宅を訪問し、被災者に声を掛けられる皇太子ご夫妻＝平成25年9月22日



旧騎西高校で、地震発生時刻に黙とうする町民＝平成26年3月11日

2014

平成26年

【県内】新島八重の「八重の桜」テレビ放送で多くの県民に勇気(年間)福島市で「東北六魂祭」開催、25万人の入出(6.1、2)【国内】特定秘密保護法が成立(12.6)プロ野球日本シリーズで東北楽天が日本一、球団創設9年目で(11.3)【国際】中国が防空識別圏を設定(11.23)

- 3月27日 伊澤史朗町長が旧騎西高校避難所を上田清司埼玉県知事に返還
- 4月1日 双葉町立幼稚園・小学校・中学校教職員着任式(いわき市：旧東邦銀行植田支店錦出張所)
- 4月7日 双葉町立幼稚園・小学校・中学校の開校式・入学式
- 7月22日 町観光協会が再設立
- 8月24日 双葉町立幼稚園・小学校・中学校の仮設校舎落成式を開催
- 8月30日 佐藤雄平福島県知事から、苦渋の決断として中間貯蔵施設の建設受け入れを容認する旨、伊澤双葉・渡辺大熊両町長と議長及び双葉郡8町村長へ説明
- 9月1日 安倍晋三首相へ佐藤福島県知事が、県の考えを伝達(伊澤双葉町長・渡辺大熊町長同席)
- 9月29日 国による中間貯蔵施設の地権者説明会(10月12日まで県内外で12回開催)
- 10月16日 ICTきずな支援システムの本格運用開始
- 11月7日 県営で初めての復興公営住宅の鍵引き渡し式(双葉町民20戸の郡山市・八山田団地1号棟の入居が、11月15日から開始)
- 11月21・22日 津波被災地域の土地利用計画に関して両竹・浜野地区住民説明会を実施

2015

平成27年

常磐自動車道全線開通

- 1月13日 議会全員協議会を開催し、町として中間貯蔵施設建設の受け入れを表明し了承
- 2月24日 内堀雅雄福島県知事から、中間貯蔵施設へ廃棄物の搬入を容認する旨、伊澤双葉町長、渡辺大熊町長、双葉・大熊町議会議長及び双葉郡8町村長へ説明
- 2月25日 県、双葉・大熊両町が、国との間で中間貯蔵施設に関する安全協定を締結
内堀福島県知事が、中間貯蔵施設への廃棄物搬入受け入れを容認する旨を国へ伝達。町は県の搬入受け入れ容認の判断を了解
- 3月1日 常磐自動車道全線開通
安倍首相及び竹下亘復興大臣が双葉町内を視察
- 3月12日 「双葉町復興まちづくり長期ビジョン」、「双葉町津波被災地域復旧・復興事業計画(両竹・浜野地区復興計画)」を策定
- 4月27日 福島県は東日本大震災の犠牲者を追悼するため、国が整備する「復興祈念公園」の候補地を双葉・浪江両町にまたがる地域とする方針を決定
- 5月20日 環境省による双葉町(避難指示解除準備区域)の本格除染開始

2016

平成28年

【県内】常磐道常磐富岡ー浪江IC間が開通し、埼玉から宮城まで全線開通(3.1)台風18号の影響で県内に50年に1度の大雨、交通網や農産物に大被害(9.9～11)【国内】安全保障関連法案が成立、集団自衛権行使可能に(9.19)TPP交渉が大筋合意、貿易自由化(10月)【国際】欧米などで「イスラム国」関連テロ(年間)

- 1月8日 環境省が帰還困難区域内の拠点除染として町道新山・鴻草線沿いの倒壊家屋等の撤去開始
- 4月1日 副町長に金田勇氏就任、町教育委員会教育長に半谷淳氏再任

- 6月18日 渡邊一成選手リオデジャネイロ五輪自転車競技出場壮行会を開催(いわき市、八幡台やまたまや)
- 7月22日 双葉町町民会議を開催し、県内の学校などの除染土壌等受け入れのための町有地使用について意見を求めた(7月29日・行政区長会、8月4日・議会全員協議会)
- 8月9日 海岸防潮堤の復旧工事開始
- 8月29日 福島県がアーカイブ拠点施設の建設地を双葉町中野地区に決定
- 8月31日 政府が帰還困難区域の取扱いに関する考え方を決定



仮設校舎落成式で式辞を述べる伊澤町長＝平成26年8月24日



双葉町のふたば幼稚園、双葉南、双葉北両小学校、双葉中学校の仮設校舎



伊澤町長(左から2人目)の説明を受ける安倍首相(手前)と竹下復興相(左端)＝平成27年3月1日



リオ五輪出場の壮行会に集まった町民から握手を求められ、励ましを受ける渡邊選手(中央)＝平成28年6月18日

- 9月12日 帰還困難区域内で初となるガソリンスタンド「田中合名会社双葉給油所」が営業を再開
- 10月31日 環境省が町内の帰還困難区域では初となる、双葉駅西地区での面的な除染を開始
- 11月3日 埼玉県加須市と友好都市盟約を締結
- 11月15日 環境省が中間貯蔵施設の本体工事(受入・分別施設、土壌貯蔵施設)に着手
- 12月20日 双葉町復興まちづくり計画(第二次)を策定

【県内】 検察審査会の起訴議決を受け、検察官役の弁護士が東電の勝俣恒久元会長ら強制起訴(2.29) 県内の16 J A が再編され、新たな4 J A が誕生(3. 1) 【国内】 熊本県で最大震度7の地震(4.14、16) 天皇陛下が皇太子さまに皇位を譲る退位の強い思いを示される(8. 8) リオ五輪で日本勢が史上最多の41個のメダル(8月) 【国際】 米大統領にトランプ氏(11月)

2017
平成29年

- 1月19日 町長選挙及び町議会議員一般選挙が告示。いずれも無投票
- 2月7日 町議会議長に佐々木清一氏、副議長に岩本久人氏再任
- 3月10日 町長に伊澤史朗氏が再任
- 3月28日 「双葉町東日本大震災記録誌後世に伝える震災・原発事故」を発行。震災から2016(平成28)年12月までの町の沿革等をまとめた
- 3月31日 U R 都市機構と「双葉町内復興拠点の整備等の復興まちづくりに関する協力協定書」を締結
- 4月1日 町教育委員会教育長に舘下明夫氏が就任
- 4月5日 (株)エコが郡山市に整備していた双葉町地域密着型介護福祉施設「グループホームふたば」が開所

- 4月10日 公立双葉准看護学院が南相馬市内の仮設校舎で7年ぶりに再開
- 4月29日 浪江町井手地区で山林火災が発生し、双葉町にも延焼(5月10日に鎮火)。鎮火までにかかった日数は平成に入って県内最長。焼失面積約75ヘクタール(浪江町約22ヘクタール、双葉町約53ヘクタール)
- 5月12日 福島復興再生特別措置法の改正案が成立。帰還困難区域を整備するための「特定復興拠点」を設けることなどが盛り込まれる(19日公布・施行)
- 6月5日 双葉町の燃料会社「(株)伊達屋」が、町内の帰還困難区域でガソリンスタンドの営業を再開
- 7月6日 双葉町内で運営していた特別養護老人ホーム「せんだん」が、いわき市錦町で業務を再開
- 9月15日 国が双葉町特定復興再生拠点区域復興再生計画を認定
- 10月8日 いわき市立南部アリーナにおいて、「ふたばスポーツフェスティバル2017」、「オリンピックデー・フェスタ in ふたば」を開催。東日本大震災後初となる町民参加の体育行事
- 11月29日 第4回双葉町復興整備協議会を開催し、両竹地区太陽光発電事業(民間事業)の農地転用を了承。12月8日許可
- 12月25日 環境省が特定復興再生拠点区域内の除染と建物解体等に着手

【県内】 浪江、飯舘、川俣町山木屋、富岡の避難指示解除(3.31、4. 1) 室屋義秀選手、レッドブル・エアレースで年間総合優勝、アジア人初の快挙(10.15) 【国内】 共謀罪盛り込んだ改正組織犯罪処罰法成立(6.15) 桐生祥秀選手が陸上男子100mで9秒98、日本人初の10秒突破(9. 9) 【国際】 米でトランプ政権発足(1.20)



加須市との友好都市盟約締結式で記念品を交換した(右から)金田副町長、角田副市長、岩本町議会副議長、酒巻市議会副議長=平成28年11月3日



加須市と双葉町の友好を誓って盟約書を交わす(右から)佐々木町議会議長、伊澤町長、大橋市長、福島市議会議長=平成28年11月3日



ガソリンスタンド「伊達屋」双葉に復活。「伊達屋 復活」の旗を手に思いを語る吉田知成さん=写真は平成29年6月6日付福島民報



特別養護老人ホーム「せんだん」いわきで業務再開=写真は平成29年7月7日付福島民報



国と県が復興祈念公園の基本構想を発表=平成29年7月15日付福島民報

2018 平成30年

- 1月28日 双葉町中野地内において、産業再生・情報発信の場として整備する中野地区復興産業拠点の造成工事起工式
- 1月29日 東京電力が2020年を目途に、双葉町中野地区に福島復興本社を移転することを発表
- 2月26日 いわき市の福島県復興公営住宅勿来酒井団地の一部が完成。入居者への鍵引き渡し式
- 3月29日 復興公営住宅勿来酒井団地敷地内において、町の高齢者等福祉施設「サポートセンター ひだまり」が開所
- 4月13日 復興公営住宅勿来酒井団地敷地内において、双葉郡立勿来診療所が開所
- 5月9日 双葉町の農地を保全し営農再開につなげるため、双葉町農地保全管理組合を設立。いわき事務所で設立総会を開催
- 5月24日 町とＪＲ東日本が、双葉駅に東西自由通路と橋上駅舎を整備するための施行協定を締結
- 5月30日 第6回双葉町復興整備協議会を開催し、鴻草・渋川地区太陽光発電事業実施に伴う農地転用を了承。6月1日許可
- 6月23日 復興公営住宅勿来酒井団地内で、オープニングイベントを開催
- 7月19日 中間貯蔵施設予定地となっている町有地の一部を、環境省へ譲渡する契約を初めて締結
- 8月6日 ＪＲ常磐線双葉駅橋上化及び自由通路新設工事に関する起工式
- 8月28日 中野地区復興産業拠点への進出第1号となる(株)アルメディオと立地協定を締結

- 9月25日 中野地区復興産業拠点へ共同企業体で進出する双葉住コン(株)、大林道路(株)と立地協定を締結。双葉町の企業との締結は初
- 11月15日 細谷地内において減容化処理における仮設焼却施設・仮設灰処理施設の起工式
- 11月24日 安倍首相が町内を訪れ、中野地区復興産業拠点・ＪＲ双葉駅周辺を視察
- 11月27日 中野地内において県道井手長塚線・長塚請戸浪江線(復興シンボル軸)起工式

【県内】戊辰戦争から150年で県内各地で式典や慰霊祭(年間)南相馬市で天皇・皇后両陛下をお迎えし、第69回全国植樹祭(6.10)【国内】西日本を中心に広範囲で記録的な大雨、死者220人超、家屋約1万7千棟が全半壊(7月)日産のカルロス・ゴーン会長逮捕(11.19)【国際】米トランプ大統領と北朝鮮の金正恩委員長が初の首脳会談(6.12)

2019 平成31年

- 1月12・13日 双葉町ダルマ市が、復興公営住宅勿来酒井団地内で初めて開催
- 2月9日 町内中野地区において、東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設の安全祈願祭及び起工式
- 3月6日 アイワビルド(株)と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結
- 3月28日 復興まちづくりを具体的に推進するため、まちづくり会社「一般社団法人ふたばプロジェクト」が設立
- 4月1日 町教育委員会教育長に館下明夫氏が再任
- 4月16日 中野地区内において、産業交流センター建設の起工式



「サポートセンターひだまり」開所Ⅱ写真は平成30年3月30日付福島民報



ＪＲ双葉駅新駅舎の起工式と安全祈願祭。くわ入れする(左から)佐々木、増子、雨宮、伊澤、吉野、鈴木、柳沼の各氏＝写真は平成30年8月7日付福島民報



町内で産業交流センターの起工式。くわ入れする(左から)伊澤町長、佐々木議長、浜田復興副大臣、磯崎経産副大臣＝写真は平成31年4月17日付福島民報



県営災害公営住宅・勿来酒井団地のオープニングイベント。施設の供用開始を祝い、投げ餅などが行われた＝写真は平成30年6月24日付福島民報



災害公営住宅で伝統行事「ダルマ市」初開催。会場に並んだ双葉ダルマを買い求める来場者＝写真は平成31年1月13日付福島民報

令和元年

- 6月4日 中野地区復興産業拠点へ進出する(株)伊藤工務店及び勝山工業(株)と立地協定を締結
- 7月31日 中野地区復興産業拠点へ進出する(株)ＭＣＣ、(株)ＣＬＭ、他1社と立地協定を締結
- 8月2日 町内復興インターチェンジの正式名称が「常磐双葉インターチェンジ」に決定
- 8月20日 2022年の帰還後の営農再開に向け、仙台市の農業法人「舞台ファーム」と包括協定を締結

- 10月1日 双葉駅西側第一地区の復興再生拠点市街地形成施設事業の起工式
- 10月16日 浅野燃糸(株)と中野地区復興産業拠点への企業立地協定を締結
- 10月17日 町内の駅西地区に整備する町営住宅を福島県が代行して整備するため、町と県とで災害住宅建設協定を締結
- 11月1日 中野地区復興産業拠点へ進出する新日鉄・クボタ・大林・ＴＰＴ・特定共同企業体、ＪＦＥエンジニアリング(株)、日建リース工業(株)と立地協定を締結

2020
令和2年

町内で初の一部避難指示解除

- 12月21日** 中野地区復興産業拠点において、双葉中央アスコンの火入れ式
- 12月26日** 国・県・町間で、令和2年3月4日午前0時に避難指示解除準備区域（中野・中浜・両竹地区）等の避難指示解除及び特定復興再生拠点区域の立入規制緩和に合意

【県内】第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走で本県が悲願の日本一（1.20）台風19号、記録的な大雨で甚大な被害。死者30人、さらに大雨が続き、死者2人に（10月）【国内】新天皇陛下が即位され、令和に。前天皇は退位され、上皇に（5.1）京都アニメーションで放火殺人事件、36人が死亡（7.18）【国際】香港で反政府デモ（6月～）

- 1月17日** 原子力災害対策本部は、双葉町・大熊町・富岡町の3町において、一部の避難指示解除を決定する。避難指示解除が初となる双葉町は3月4日午前0時、大熊町は同5日午前0時、富岡町は同10日午前6時に解除される。また、双葉町では特定復興再生拠点区域の全域、大熊町では、一部地区の立入規制も緩和

- 2月19日** 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）アルムシステムと立地協定を締結

- 2月27日** 細谷地区において廃棄物処理業務を行う減容化施設の火入れ式

- 3月4日** 双葉町内初となる避難指示解除準備区域及びJ R 双葉駅周辺の一部区域の避難指示解除、特定復興再生拠点区域内の立入規制を緩和

双葉町コミュニティーセンター内に役場連絡所を開所

- 3月7日** 双葉町寺沢地区に常磐自動車道 常磐双葉インターチェンジが開通

- 3月14日** J R 常磐線が全線再開

双葉駅が新駅舎（橋上駅）として同日開業し、駅の東西を自由に通行できるようになる

J R 常磐線全線再開お出迎え式を駅自由通路及びホームにて実施

- 4月1日** 副町長に徳永修宏氏就任

- 4月13日** 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）ユタカ建設と立地協定を締結

- 4月30日** 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）中里工務店と立地協定を締結



常磐双葉インターチェンジ供用開始＝令和2年3月7日



J R 常磐線全線開通＝令和2年3月14日



原発事故後初、小売店「伊藤物産」が営業開始。建設現場に必要な工具や資材が並ぶ店内＝写真は令和2年8月2日付福島民報



県が整備した震災原発事故の伝承館が開館。原発事故発生直後の状況などに関する展示を見る来館者＝写真は令和2年9月21日付福島民報

- 5月21日** 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）エナジーと立地協定を締結

- 7月1日** 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）双新電子及び東北アクセス（株）と立地協定を締結

- 7月17日** 復興シンボル軸が一部（国道6号の東側）開通

- 8月1日** 東日本大震災後初めて町内に小売店「伊藤物産」が開業

- 8月27日** 両竹地区農地保全管理組合による、旧避難指示解除準備区域での野菜の出荷制限解除に向けた試験栽培を実施

- 8月30日** 下羽鳥・長塚地区農地保全管理組合、上羽鳥地区農地保全管理実行組合による野菜の試験栽培を実施

- 9月20日** 福島県東日本大震災・原子力災害伝承館が開館

双葉町内でシェアサイクルの利用を開始

- 10月1日** 双葉町産業交流センター（F－B I C C）が開所。入居事業者等関係者が出席し開所式

- 10月28日** J R 常磐線双葉駅と中野地区復興産業拠点を結ぶシャトルバスが運行開始

- 11月7日** 福島県東日本大震災・原子力災害伝承館、福島県復興祈念公園の合同開所式を双葉町産業交流センターで実施

【県内】福島市出身の作曲家古関裕而さんと妻の金子さんをモデルにした「エール」が放送され、全国で大反響（3～11月）J R 常磐線が約9年ぶりに全線で運転を再開（3.14）福島市の老舗百貨店中合が閉店、146年の歴史に幕（8.31）【国内】新型コロナで緊急事態宣言（4.7）、その後も感染拡大（年間）安倍首相が辞意表明（8.28）菅義偉氏が第99代首相に（9.16）【国際】米大統領選で民主党のバイデン氏の勝利が確定（12.14）

中野地区復興産業拠点で双葉中央アスコンの火入れ式を行い、稼働し始めた双葉中央アスコンの写真は令和元年12月22日付福島民報



環境省が減容化2施設の火入れ式。仮設処理施設内を映すモニターを監視する職員＝写真は令和2年2月28日付福島民報

2021
令和3年

東日本大震災から10年

- 1月9日** …… 恒例行事である双葉町ダルマ市が、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、有志によるダルマ販売会を開催（町産業交流センター）
- 1月14日** …… 町長選挙が告示、無投票
- 1月24日** …… 議会議員一般選挙投票開票
- 2月2日** …… 福島県浜通り地域における新しいモビリティを活用したまちづくり連携協定を締結
- 2月3日** …… 町議会議長に伊藤哲雄氏、副議長に高萩文孝氏就任
- 3月6日** …… 菅義偉首相が双葉町を訪問。J R 双葉駅周辺を中心に町の復興状況を視察
- 3月10日** …… 町長に伊澤史朗氏再任
- 3月11日** …… 東日本大震災から10年
双葉町産業交流センター（FーB I C C）において、東日本大震災双葉町追悼式を挙行（町内で初）
- 3月25日** …… J R 双葉駅前広場において東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーを実施
- 3月26日** …… 旧避難指示解除準備区域での野菜の出荷制限解除
- 4月14日** …… 中野地区復興産業拠点へ進出するフレックスジャパン（株）と立地協定を締結
- 4月22日** …… 相馬妙見宮初発神社で震災後初の式年大祭（2019年改修）
- 4月26日** …… 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）World Link & Company と立地協定を締結
- 5月1日** …… 中野地区復興産業拠点においてビジネスホテル「A R M 双葉」が開業

- 5月19日** …… 下羽鳥地区の水田において、下羽鳥・長塚地区農地保全管理組合が震災後町内で初となる田植えを実施
- 8月8日** …… 東日本大震災の津波により流出した双葉町中野地区にある中野八幡神社の竣工祭
- 8月28日・9月5日** …… 特定復興再生拠点区域内で野菜の試験栽培を実施（下羽鳥、長塚、上羽鳥、中田、下長塚、三字地区）
- 9月22日** …… 中野地区復興産業拠点へ進出する（株）丸井と立地協定を締結
- 10月1日** …… 斎場「聖香苑」が再開
町道新山・鴻草線、鴻草・寺松線の一部区間の特別通過交通開始
- 10月8日** …… 中野地区復興産業拠点へ進出する双葉グリーン土木（株）と立地協定を締結
- 10月17日** …… 岸田文雄首相、西銘恒三郎復興大臣が町内を訪問、町道109号新山・鴻草線を通行し、特定復興再生拠点区域外の状況、J R 双葉駅を視察
- 10月28日** …… よい仕事おこしフェア実行委員会と包括連携協定を締結
- 11月15日** …… 双葉町役場仮設庁舎建設工事の起工式
- 12月1日** …… 長崎大学と健康不安に関する相談体制を整備するため包括連携協定を締結

【県内】 政府が福島第一原子力発電所の処理水の海洋放出決定（4.13）福島で東京五輪野球・ソフトボール競技実施（7.21、22、28）【国内】 新型コロナで度重なる緊急事態宣言（年間）東京五輪・パラリンピック無観客開催（7月～）菅首相退陣し、岸田政権発足（10.4）眞子さん、小室圭さんと結婚（10.26）【国際】 男子ゴルフの松山英樹選手がマスターズで優勝（4.11）アフガン米軍撤退、タリバン政権に（8.31）米大リーグで大谷翔平選手がMVP（11.18）



双葉町産業交流センター内で営業を開始したフードコート。昼時には大勢の客でにぎわった＝写真は令和2年10月2日付福島民報



双葉再生の象徴「双葉町産業交流センター」開所＝写真は令和2年10月2日付福島民報



双葉駅と復興産業拠点を結ぶシャトルバス運行＝写真は令和2年10月29日付福島民報



シャトルバス利用者に運行記念乗車証配布。利用者に乗車証を手渡す伊澤町長（中央）＝写真は令和2年10月31日付福島民報



中野地区に整備の伝承館など合同開所式＝写真は令和2年11月8日付福島民報

テイクカットで各施設の開所を祝う平沢復興相（左から3人目、内堀知事（同4人目）、伊澤町長（同5人目）ら



町内で初の東日本大震災追悼式＝写真は令和3年3月12日付福島民報



東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー＝令和3年3月25日

2022
令和4年
(～11月)

町役場新庁舎開庁、特定復興 再生拠点区域の避難指示解除

- 1月20日** …… 準備宿泊開始に伴う、防犯・
防災パトロール出動式

準備宿泊開始
- 3月2日** …… 特定復興再生拠点区域外の9
つの行政区長(羽鳥、石熊、
山田、三字、細谷、寺松、渋
川、鴻草、下長塚)が「特定
復興再生拠点区域外の除染・
家屋解体などを早期に求める
要望書」を提出
- 3月16日** …… 町災害対策本部開催(23時36
分福島県沖を震源としたM
7.4、双葉町震度6弱)

- 4月1日** …… 副町長に平岩邦弘氏が就任
(副町長が2人体制に)

町教育委員会教育長に舘下明
夫氏が再任
- 4月8日** …… 放射線量等検証委員会が最終
報告
- 4月26日** …… 特定復興再生拠点区域内の野
菜の出荷制限解除
- 5月12日** …… 特定復興再生拠点区域の避難
指示解除に向けた住民説明
会・拠点外説明会(5.12～
6.4まで県内外11カ所)
- 5月31日** …… 移動販売事業に関する基本協
定締結(イオン東北・トヨタ
自動車・双葉町・浪江町)6
月13日運行開始

- 7月14日** …… 特定復興再生拠点区域の避難
指示解除について国・県・町
で合意
- 8月27日** …… 双葉町役場新庁舎開庁式
- 8月29日** …… 双葉警察署双葉駐在所開所式
- 8月30日** …… 午前0時 特定復興再生拠点
区域の避難指示解除

防犯・防災パトロール出動式
- 9月5日** …… 双葉町役場新庁舎で業務開始
- 9月17日** …… 岸田文雄首相が新庁舎を訪
問、若手職員と意見交換
- 9月23日** …… 双葉町を会場にふたばワール
ド2022 in 双葉が開催され
る
- 9月26日** …… 駅西住宅鍵引き渡し式

- 9月28日** …… 中野地区産業拠点において株
式会社アルメディオ福島双葉
工場の竣工式
- 10月10日** …… 前田稻荷神社再建竣工祭
- 11月5日** …… 双葉町産業交流センターにお
いて、双葉町合併70周年記念
式典を挙げる。(午前・式典の
部、午後・記念アトラクショ
ンの部の2部構成)式典の部
には竹谷とし子復興副大臣ほ
か約90人の来賓が出席

【国内】安倍元首相、参院選の街頭演説中に銃撃
され、死亡(7.8)【国際】北京五輪開催。91カ国・
地域が参加。夏冬両方の五輪開催都市となるのは
北京が初めて。日本勢は、冬季大会で最多を更新
するメダル18個(金3、銀6、銅9)を獲得(2.4
～20)ロシア軍、ウクライナに侵攻(2.24)



準備宿泊開始に伴う防犯・防災パトロール出動式。出動申告
する波田野分隊長＝写真は令和4年1月21日付福島民報



移動販売の出発式セレモニー＝令和4年6月10日



放射線量等検証委員会が最終
報告＝令和4年4月8日



避難指示解除に向けた住民説明会＝令和4年6月4日



避難指示解除三者協議・合意＝令和4年7月14日



勇壮に行われた相馬野馬追＝令和4年7月23日～25日



相馬野馬追では武者姿もりりしく＝令和4年7月23日～25日



帰還困難区域の住民説明会＝
令和4年7月23日～8月6日



説明を聞く帰還困難区域の住民
＝令和4年7月23日～8月6日



役場新庁舎を訪れた京丹波町の畠中町長＝令和4年8月26日

新庁舎開庁から 合併70周年記念式典までの足跡

2022(令和4)年8月～11月

双葉町役場新庁舎 開庁式

2022(令和4)年8月27日に双葉町役場新庁舎の開庁式が行われた。テープカットやダルマの目入れなどその様子を写真で紹介する。



双葉町役場新庁舎開庁式テープカット



コーラスふたばによる町民の歌斉唱



震災前の双葉ダルマに11年ぶりに目入れ



秋葉賢也
復興大臣



西村康稔
経済産業大臣



内堀雅雄
福島県知事



標葉せんだん太鼓保存会による演奏



防犯・防災パトロール出動式=8月30日

双葉駐在所が開所

双葉駐在所の開所式が8月29日に行われた。住民が少しずつ増え、町の防犯・防災体制が再強化されることになった。8月30日には防犯・防災パトロールが実施された。



双葉駐在所開所式=8月29日

避難指示解除の喜び

震災から11年5カ月経過した8月30日午前0時をもって特定復興再生拠点区域の避難指示が解除になった。避難指示解除を歓迎するセレモニー、キャンドル点火などカウントダウンイベントが行われた。



キャンドル点火などのカウントダウンイベント=8月29日～8月30日

震災から11年5カ月…ふるさとで業務再開

特定復興再生拠点区域の避難指示が8月30日午前0時解除になったのに合わせ、JR双葉駅前で「おかえりプロジェクト」が催された。そして、8月27日に開庁した町役場新庁舎で9月5日、業務開始式が行われた。



特定復興再生拠点区域の避難指示解除後の9月5日、新庁舎で行われた業務開始式



復興に向けた大きな一歩を祝った「おかえりプロジェクト」=令和4年8月31日付福島民報

主要産業にも息吹

震災前に主要産業だった農業も営農が再開され、生産への息吹が芽生え始めた。さらに生産の拡大が期待される。



営農再開（ブロッコリー作付け）＝9月7日

ふたばワールド2022 in 双葉

双葉町産業交流センターで9月23日に「ふたばワールド2022 in 双葉」が開催された。威勢の良い太鼓の音が鳴り響き、町商工会女性部などが出店した。今後、少しずつにぎわいを取り戻していく。



ふたばワールド2022 in 双葉の開幕セレモニー



出店した町商工会女性部



出店したふたば茶亭



ステージで披露された宝宝財踊り

岸田首相が新庁舎訪問

岸田文雄首相が9月17日、町役場新庁舎を訪問した。町の復興へ若手職員と意見交換した。



岸田首相が役場新庁舎訪問＝9月17日

ふたばワールド2022
in 双葉であいさつする
伊澤町長



駅西住宅が完成し、入居開始

双葉町で始まる新しい暮らしの拠点「なりわい集落」として駅西住宅が完成し、9月26日に第1期入居者への鍵引き渡し式が行われた。



「なりわい集落」として完成した駅西住宅



入居者への鍵の引き渡し式

中野地区復興産業拠点に企業進出

中野地区の復興産業拠点に株式会社アルメディアオ福島双葉工場が完成し、9月28日に竣工式が行われた。関係者が新しい工場の誕生を祝った。



鏡開きで竣工を祝う関係者



竣工式での
双葉ダルマへの目入れ

地域の再生を願い神社再建

家内安全や合格・必勝などの各種祈願、盆踊り、神楽の奉納など地域住民の営みと密接に関わり、心のよりどころとなっていた神社が再建された。



中野八幡神社竣工＝令和3年8月



完成した前田稲荷神社＝令和4年10月



令和元年11月に社殿の修復が完成し、令和3年4月に式年大祭が行われた初発神社

双葉町合併70周年記念式典

11月5日に町産業交流センターで合併70周年記念式典が行われた。式典と記念アトラクションの2部構成で、70周年の歩みを振り返るとともに、新しいまちづくりへの誓いを新たにした。式典では、町民の歌の斉唱や町民憲章の朗読、詩人の和合亮一氏の記念詩の発表などがあつた。記念アトラクションでは、和合氏とフリーアナウンサーの大和田新氏のスペシャルトーク、町芸術文化団体連絡協議会の発表、民謡歌手原田直之氏のステージなどで70周年を祝った。

第一部 記念式典



式辞を述べる
徳永修宏町長職務代理者

来賓祝辞を述べる
竹谷とし子復興副大臣



お祝いを述べる
伊藤哲雄町議会議長



コーラスふたば (国歌、双葉町民の歌斉唱)



双葉町70年の歩みの報告 (平岩邦弘副町長)



来賓の皆さま



功労表彰 (西内芳徳様)



功労表彰 (福田一治様)



功労表彰 (佐々木希久様)



表彰者集合写真



受章者代表謝辞 (根本英樹様)



万歳三唱



式典のしおり

双葉の丘へ 和合 亮一

風はどこに 私たちを
みちびく
風はどこに 私たちが
もどめる
風はどこに 私たちが
ほろろの
しあわせの
涙を知る
風はどこに 私たちの
森を育てる
風はどこに 私たちの
町をつなぐ
風はどこに 私たちの
海を結ぶ
風はどこに 私たちの
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に

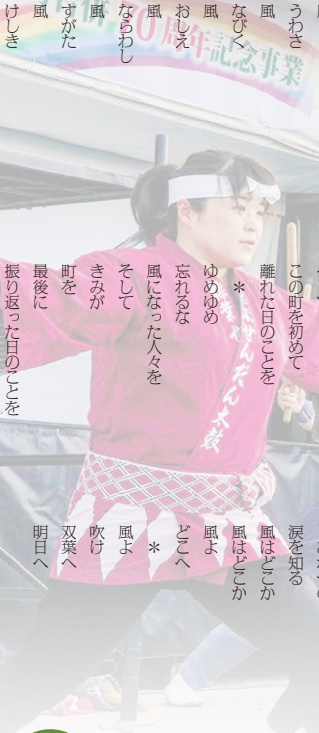
風はどこに 私たちが
みちびく
風はどこに 私たちが
もどめる
風はどこに 私たちが
ほろろの
しあわせの
涙を知る
風はどこに 私たちの
森を育てる
風はどこに 私たちの
町をつなぐ
風はどこに 私たちの
海を結ぶ
風はどこに 私たちの
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に

風はどこに 私たちが
みちびく
風はどこに 私たちが
もどめる
風はどこに 私たちが
ほろろの
しあわせの
涙を知る
風はどこに 私たちの
森を育てる
風はどこに 私たちの
町をつなぐ
風はどこに 私たちの
海を結ぶ
風はどこに 私たちの
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に

風はどこに 私たちが
みちびく
風はどこに 私たちが
もどめる
風はどこに 私たちが
ほろろの
しあわせの
涙を知る
風はどこに 私たちの
森を育てる
風はどこに 私たちの
町をつなぐ
風はどこに 私たちの
海を結ぶ
風はどこに 私たちの
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に
あの日を
思い出して
私たちが
生きた
双葉の丘に



和合 亮一



双葉町合併70周年記念事業

第二部 記念アトラクション



和合亮一氏(右)と大和田新アナウンサーのスペシャルトーク



原田直之ステージ



J.A.スマイル大正琴



双葉町民謡同好会



標葉せんだん太鼓保存会



コーラスふたば



双葉町民謡同好会

